

令和7年 8月1日

保護者の皆様へ

人間環境大学附属岡崎高等学校
校長 横山 博文

「花便り」 第7号

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じ上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

本日より8月です。今年の夏は日中の高温はもちろん、熱帯夜の連続日数としては、新記録を更新中のようです。体調管理にご留意ください。

さて8月の花は百日紅（さるすべり）、燃え立つ炎天下の空には同じく燃え立つ紅白の百日紅の花が、青空を背景によく映えます。かさかさとした乾いた花弁は、太陽の熱で擦って燃え立つ炎のように感じられ、暑さには暑さを、とばかりに咲き誇る花の余りの強さに、染み入る蝉の声と共に、暑さの中に元気をもらいます。

7月18日に1学期の終業式を行い、夏休みへと入りました。早くも2週間余りが過ぎ去りましたが、お子様はお元気でしょうか。残り丁度1ヶ月、長いようであつという間の夏休み、ご家族で過ごす時間を大切になさってください。本校の学校法人「河原学園」本部がある四国の愛媛県から単身赴任できている私も、この後、来週後半からの学校休業日に合わせて、帰省させていただきます。不在の間の学校の無事を祈りつつ、です。

今回は、熱中症予防のため、放送にて行った終業式において、各教室で静かに聞いてくれた生徒の皆さんに語りかけた式辞です。私が目指す、本校の未来の一端です。

令和7年度1学期終業式 式辞

生徒の皆さん、おはようございます。着席して下さい。

終業式にあたり、式辞を述べます。

4月の始業式と入学式において、今年度からの本校のキャッチフレーズは「全ての生徒が幸せに 自己を肯定し、挑戦する人に」であることを紹介し、今年度がスタートしました。

校長として「全ての生徒が幸せに」なれているだろうか、気になる毎日です。何をどう、学

校の仕組みやルールを変えれば皆さんが幸せを感じることができるのか、尽きることのない私の思いのなかで、早くも1学期が終わってしまうことに、少し焦りを感じています。これからの高校は、先生からの一方通行の押し付けで物事が進んでいくとは思えません。先生方、生徒の皆さんの双方向で意見を出し合い、互いに居心地の良い、納得のいく学校にしていくべきものだと思います。なぜなら、学校は生徒の皆さんが主人公だからです。生徒の皆さんがやりたいと思ったことができる学校を作りたい、そう思っていますので建設的な意見やアイデアがあれば、どんどん提案してください。生徒の皆さんが自分が通う高校に対する誇りを感じることができる、良い意味の「人環クオリティ」を作っていきたいと思います。

少し1学期を振り返りましょう。4月、慌ただしく始業式、入学式を終え、授業が始まりました。今年からの45分授業は、新鮮だったのではないのでしょうか。5月の体育大会とその前日祭に向けての準備や活動は、クラスで大いに盛り上がったはずです。成功裡のうちに、1学期で最も大きな行事は終えることができました。また、学習面では2回の定期考査や模試・Aゼミ、日々の授業や宿題など、また、スポーツの分野では高校総体予選や高校野球県大会への出場、日々の活動や部活動での遠征など、それぞれに思い出に残っていることがたくさんあると思います。途中の全校集会でも伝えましたが、特に3年生にとっては、一つ一つが「高校生最後の」という前置詞がつくものばかりです。友達との良い思い出が一生の宝物になるよう、大切に丁寧に取り組んで、今しかない青春を楽しんでください。

そして、明日から始まる40日余りの夏休みは、時間とお金の使い方が試される時です。自由な時間がたくさんある分、それをどう管理するかが問われる、つまり、自由な時間の管

理者は自分自身だと気づくべきです。勉強も遊びも、まずは計画が大切です。受験生なら1日の勉強時間10時間を前提に計画を立てる、そうでない人は家事手伝いを1時間は入れる、など、1日の時間をどう使うか、計画を立てましょう。何の計画もなくただ、ダラダラと過ごすことだけは避けてください。

最後に、朝、先生が校舎入り口であいさつの声を掛けていますが、笑顔で挨拶を返してくれる生徒が増えたと感じています。これはとても良いことと感じていますし、素直に喜んでもいます。5分前登校も、意識をする生徒が増えたと感じています。これからも互いに挨拶をかわし、良い1日のスタートにしましょう。ただ、1学期に遅刻・欠席の多かった人は、2学期からは減らすよう、意識してください。

では、夏休み、それぞれに良い経験をして成長した皆さんに、9月1日の始業式で顔を合わせることができることを祈っています。事故や怪我に気を付けて、良い夏休みを過ごしてください。

人間環境大学附属岡崎高等学校 校長 横山 博文